

Zホールディングス株式会社に対するシンジケーション方式での 「サステナビリティ・リンク・ローン」契約の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、Zホールディングス株式会社（代表取締役：川邊 健太郎、以下「ZHD」）に対するシンジケーション方式によるサステナビリティ・リンク・ローン（以下「本件」）のアレンジャーに就任し、融資契約を本日締結しました。本件は、借入人のサステナビリティ目標の達成状況に基づく金利変動に合わせ、借入人または金融機関がその変動分について環境保護団体などへ寄付する本邦初の取り組みです。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手の ESG 戦略と連携したサステナビリティ目標を設定し、金利などの借入条件をサステナビリティ目標達成に連動させることで、借り手に目標達成に向けたインセンティブを与え、環境・社会面において持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

本件のサステナビリティパフォーマンスターゲット（以下「SPT」）は、Zホールディングスグループが掲げる『2030 カーボンニュートラル宣言』の実現に向けた、「2025 年度頃までに、主要企業が利用する電力の 80%以上を再生可能エネルギー化」という目標に沿って設定され、2024 年度と 2025 年度の実績値により判定されます。

本件は、貸付条件を変動させることで借入人のサステナビリティ推進施策へのインセンティブを与えると共に、借入人とみずほ銀行を始めとする金融機関が連携して、社会全体の環境負荷軽減への取り組みを寄付により支援する、本邦初の取り組みです。

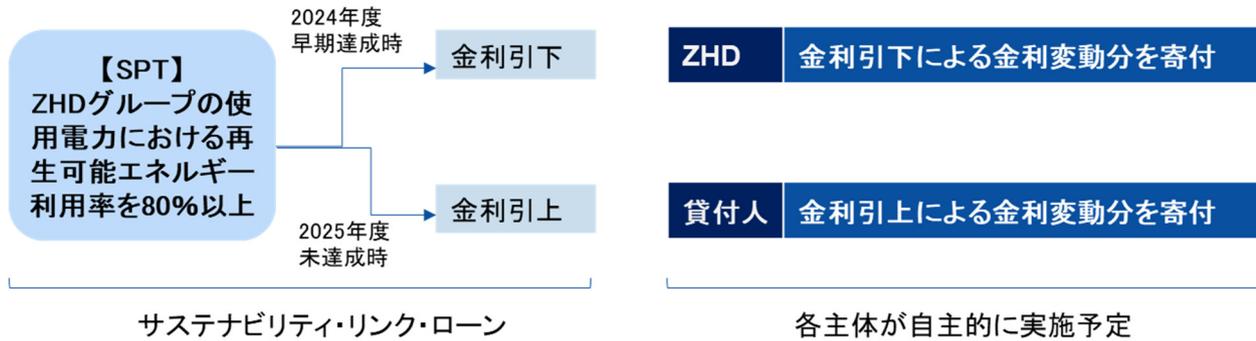
みずほ銀行を始めとする金融機関は借入人の SPT 未達時に得る金利引き上げ相当額について、ZHD は SPT 早期達成時に得られるインセンティブ（金利引き下げ相当額）について、主体的に環境保護活動を行う団体などへの寄付を実施する予定です。

なお、本件は、株式会社格付投資情報センター(R&I)から、ローン・マーケット・アソシエーション等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則、並びに環境省によるグリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（環境省ガイドライン）への準拠性と設定した目標の合理性について第三者意見（※1）を取得しています。

〈みずほ〉は、気候変動対応や脱炭素社会への移行など、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。総合金融グループとして知見を活かし、脱炭素化を推進する事業への助言や資金調達支援をはじめ、多様なソリューションの提供に積極的に取り組んでいきます。

SPT達成/未達成時の金利・寄付の取り扱い

寄付は金利変動を受けた主体が実施する予定



<本件の概要>

融 資 先： Zホールディングス株式会社

金 額： 200億円

資金用途： 事業資金

契約締結日： 2023年1月26日

実行日： 2023年1月31日

契約期間： 5年

アレンジャー： みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、三井住友信託銀行、クレディ・アグリコル銀行

※1：株式会社格付投資情報センター(R&I)による評価レポートをご参照ください。

(<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>)

以 上